

令和5年度

学校評価アンケート結果



阿南市立阿南第一中学校

令和5年度調査

1 回答者

令和5年12月14日（木）～22日（金）

教職員21名 生徒290名 保護者224名

2 回答方法

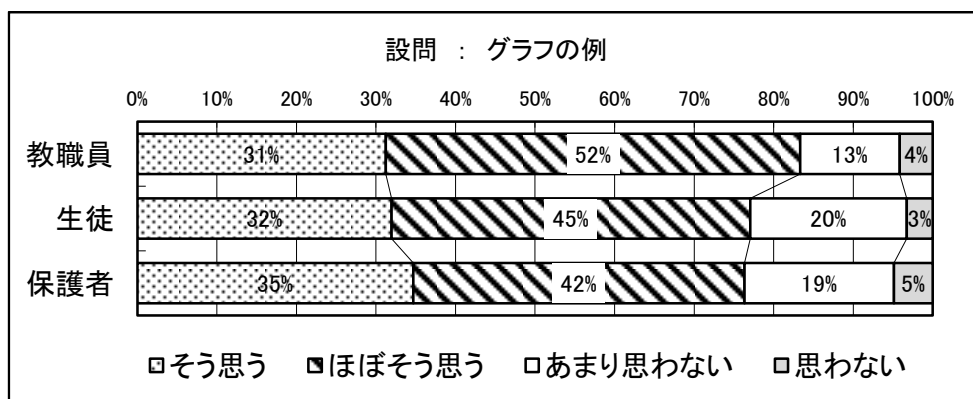
各質問事項に対して、「1 そう思う」「2 ほぼそう思う」「3 あまり思わない」「4 思わない」の4段階で回答していただき、「1 そう思う」「2 ほぼそう思う」を肯定的意見、「3 あまり思わない」「4 思わない」を否定的意見として、調査結果を分析しました。

3 結果の活用

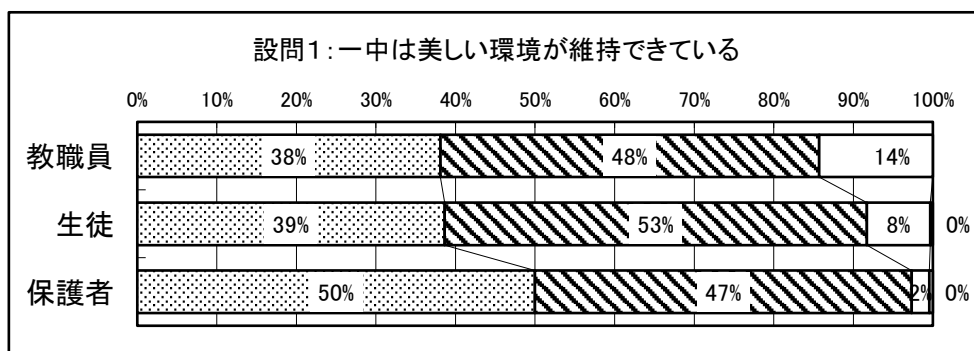
調査結果は2月にとりまとめ、全教職員に配布検討し、課題と改善点を明らかにした上で、次年度の学校運営や教育方針、さらに重点目標の参考にしていきます。また、保護者や学校運営協議会委員の方々にも調査結果をお示ししてご助言をいただき、改善すべき点は積極的に改善するよう努めていきます。

また、ホームページに掲載して、広く周知を図ります。

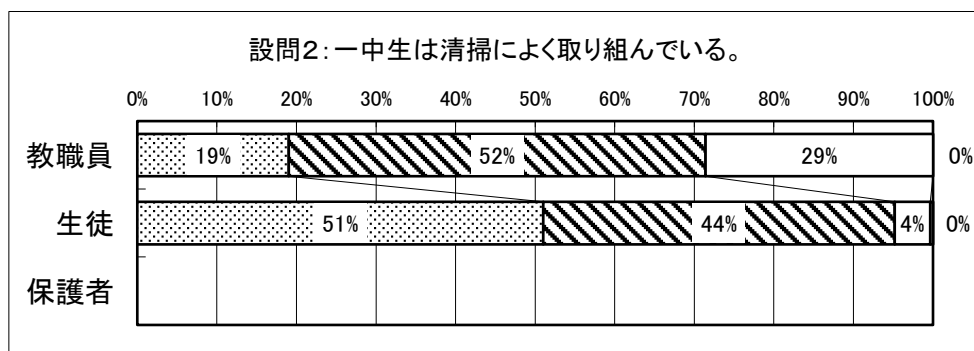
グラフの見方（例） グラフ内の数字は全体に占める割合（パーセント）です。



1 学校の環境に関すること

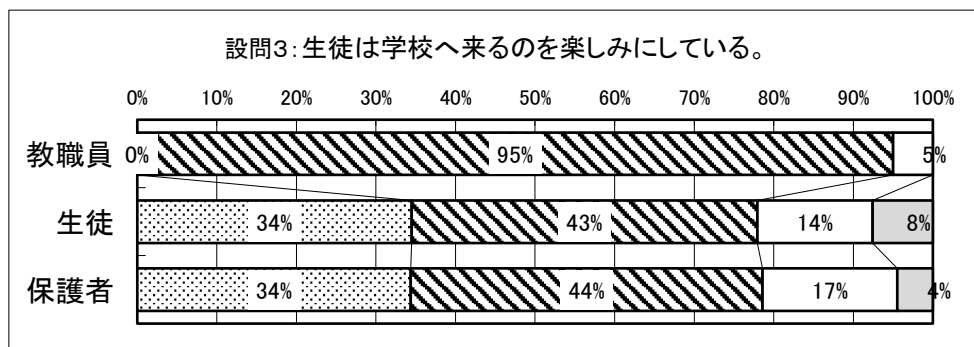


【設問1】では、生徒・保護者とも90%以上で肯定的な回答が得られ、高い水準での評価となっています。これからも美しい環境を維持できるよう努めて参ります。

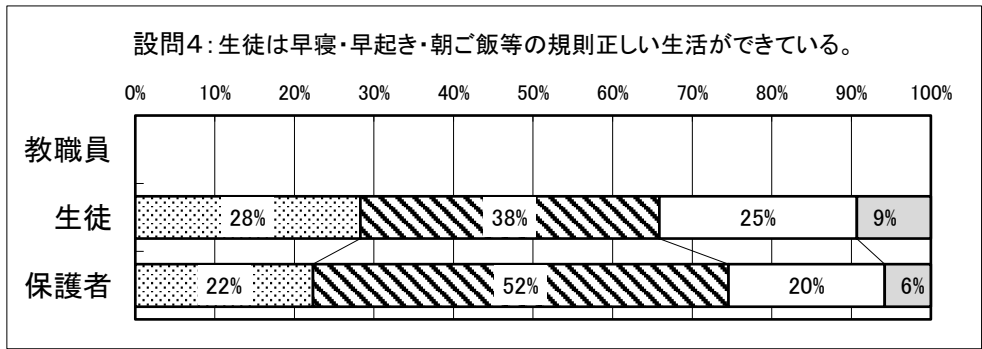


【設問2】では、肯定的な回答の割合が、生徒95%に対して教職員は71%となっており、大きな差が生じています。本校の生徒信条の一つでもある「場を清め」を、学校全体で改めて意識し、教職員と生徒が協力して清掃活動に取り組んでいきます。

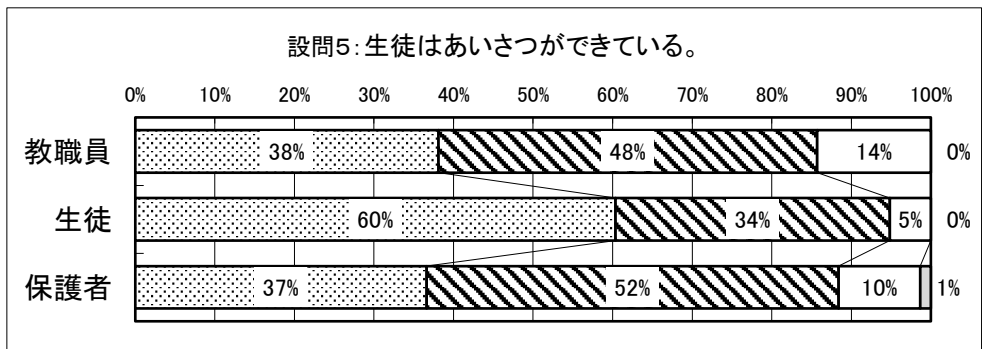
2 生徒の学校生活に関すること



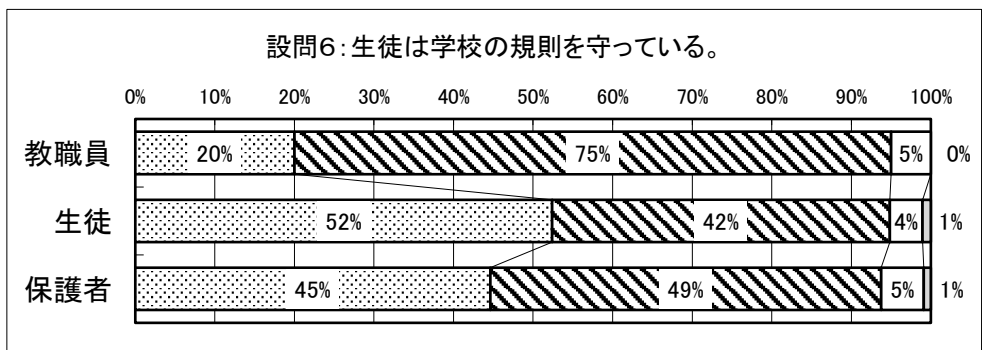
【設問3】では、肯定的な回答をした生徒は77%で、昨年度より1%の減少となりました。教職員はこの数字をしっかりと受け止め、すべての生徒が「学校へ来るのが楽しみである」と回答できるように、教育活動をすすめます。



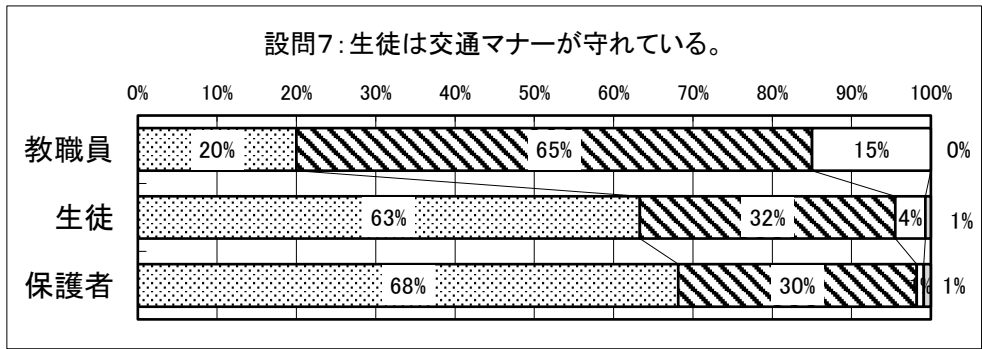
【設問4】では、規則正しい生活ができていると回答した生徒が66%で、昨年度より5%低い結果になりました。今後はよりいっそう生徒の健康と体力の向上、規則正しい生活習慣の確立をめざし、家庭と協力しながら取り組んでいきます。



【設問5】では、昨年度と同じように、生徒、保護者、教職員ともに高い水準で肯定的な回答をしています。しかし、教職員が昨年度より10%低い結果となっており、あいさつへの意識のズレを感じます。今後も「あいさつ日本一」を目標に、社会生活の基本として、積極的なあいさつの励行を進めていきます。

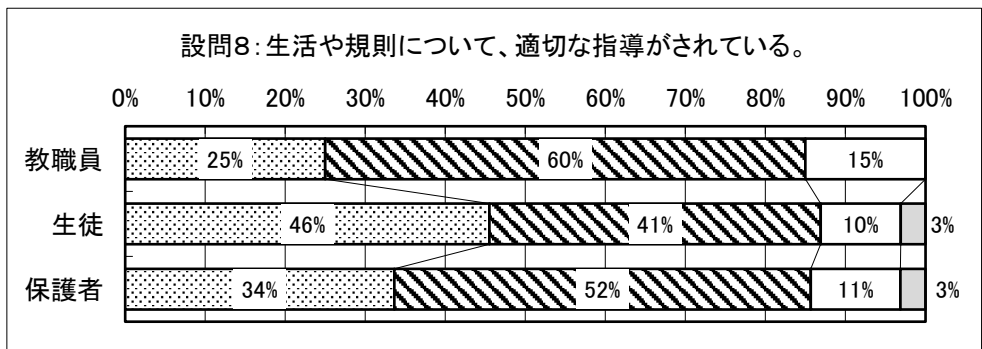


【設問6】では、「規則が守られている」と回答した生徒、保護者、教職員は、ともに100%に近く、昨年同様に高い水準を保っています。学校生活全般を見ても、ほとんどの生徒が規則を守り、落ち着いた生活を送っています。学校だけでなく、地域社会の一員としての自覚を持ち、高い規範意識のもと規律正しく生活できるよう、今後も集団行動をはじめ学級活動など、日々の学習活動で指導を継続していきます。

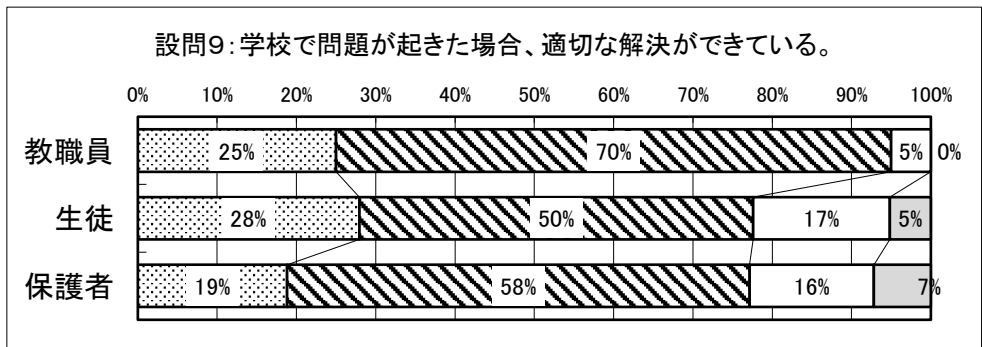


【設問7】本校の周辺道路では交通量が多く、通学路付近での工事もあり、危険と隣り合わせで通学する状況が続いています。日々危機感と緊張感をもって、交通マナーやルールを守った登下校をする必要があります。生徒の交通マナーに不安を感じている教職員が、昨年度より10%増えている現状を重く受け止め、生徒の命を守るために日々呼びかけや啓発をすすめ、安全第一の教育を行っていきます。

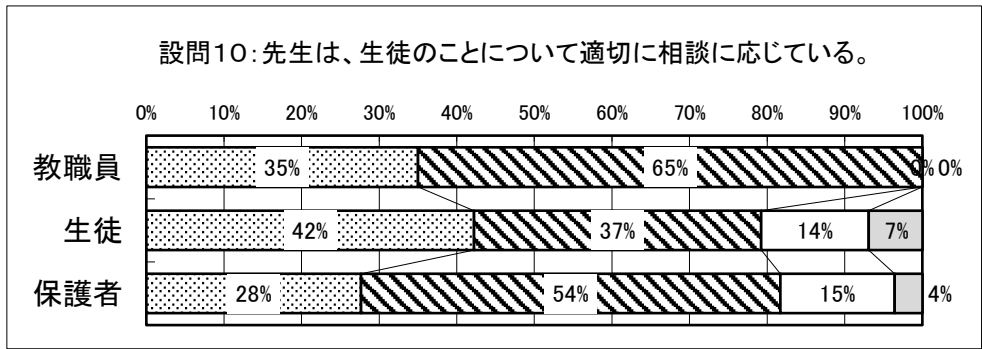
3 生徒指導に関すること



【設問8】では、教職員・生徒・保護者ともに85%以上が肯定的に捉えています。昨年度より肯定的な回答の割合が1~7%低くなっています。今後もより適切な指導が継続してできるように、反省と改善をしながら活動をすすめていきます。

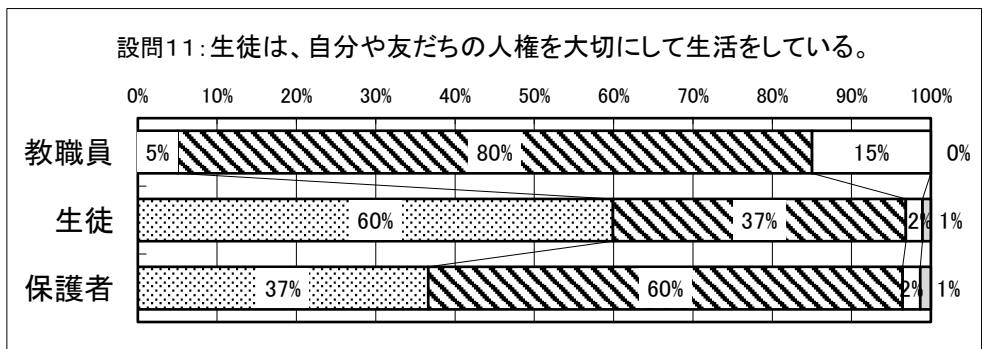


【設問9】では、生徒の78%、保護者の77%が肯定的にとらえています。どちらも昨年度より7%低くなっています。今後はより一層生徒との信頼関係をしっかりと築き、家庭との連携を図りながら、粘り強く適切な問題解決に取り組んでいきます。また、問題を未然に防ぐためにも、しっかりとした生徒理解にも努めます。

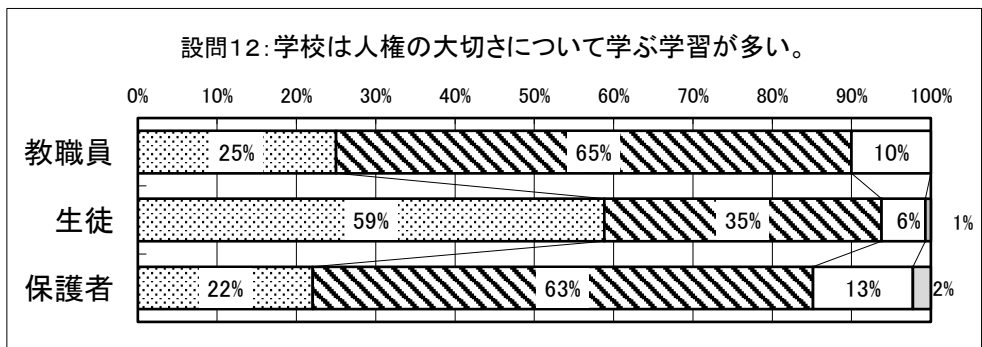


【設問10】の相談活動では、肯定的な意見が生徒では79%、保護者では82%となりました。しかし、教職員の回答に対して意識のずれが見られます。このことをしっかりと受け止め、教職員は今まで以上に生徒と向き合う機会と時間の確保に努め、より丁寧に相談活動ができるようにしていきます。また、継続して複数教員が相談に対応するよう取り組みます。

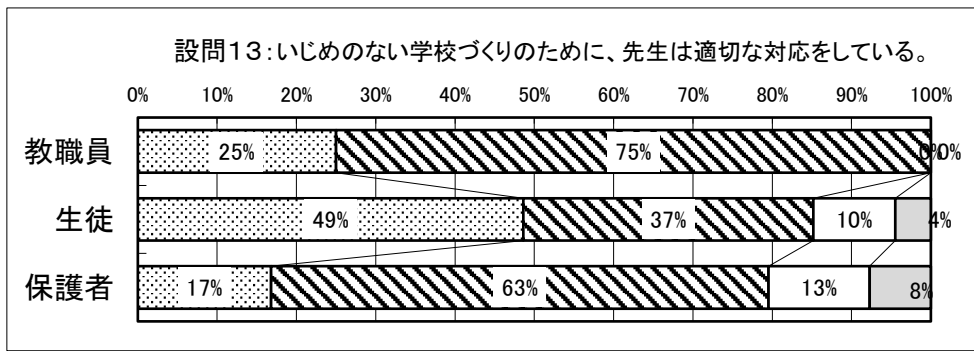
4 人権教育に関すること



【設問11】で肯定的にとらえたのは、教職員85%、生徒97%、保護者97%です。生徒・保護者とも昨年と同程度の割合でした。学校が安心できる場所であるために、これからも肯定的な意見が100%になるよう努力します。

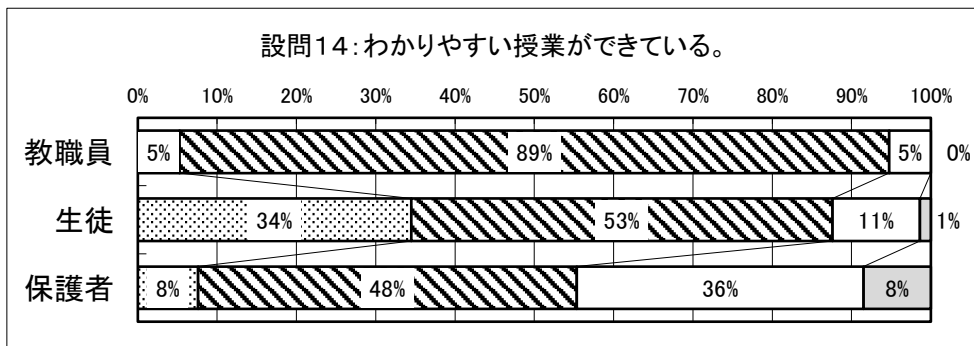


【設問12】では肯定的な回答が教職員90%、生徒94%、保護者85%でした。教職員・生徒・保護者とも昨年度に引き続き高い水準を維持しています。本校の目標でもある人権教育の充実をめざし、人権学習をすべての教育活動の基盤に据えた教育を強く推進していきます。また、「PTCでつくる人権のつどい」や毎月の人権教育・啓発通信「和～なごみ～」などを通して、保護者とともに考える機会を増やし、啓発活動にも取り組んでいきます。

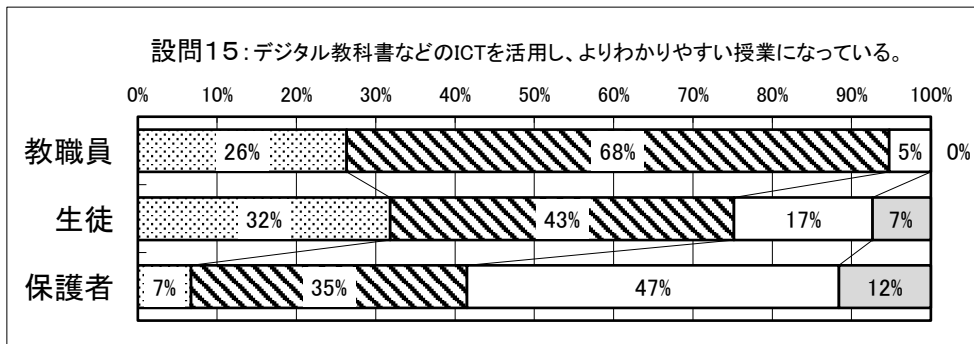


【設問13】いじめはいつでもどの学校でも起こりうるという認識のもと、定期アンケートや相談活動などを通して全教職員で取り組む重要課題です。今回、生徒86%、保護者80%が「適切な対応」として肯定的な回答となっていますが、一方で生徒の14%、保護者の20%が否定的な回答になっています。このことを重く受け止め、生徒が安心して充実した学校生活が送れるように、保護者・地域・関係機関と連携し、いじめのない環境作りに努めるとともに、早期発見・早期解決するように適切な対応を進めていきます。

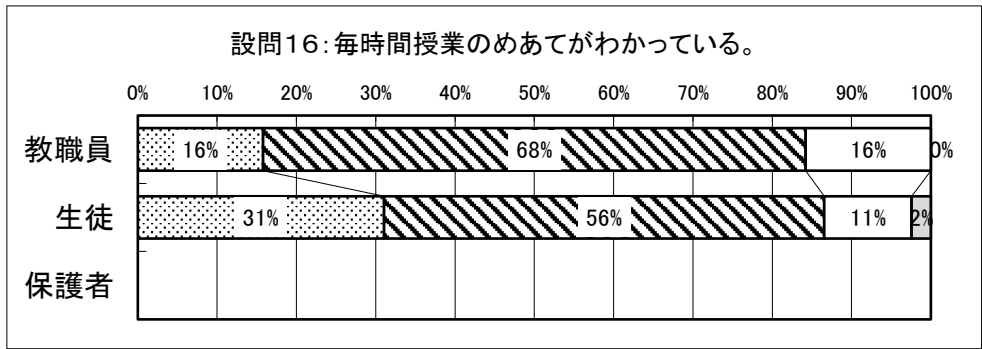
5 学習指導に関すること



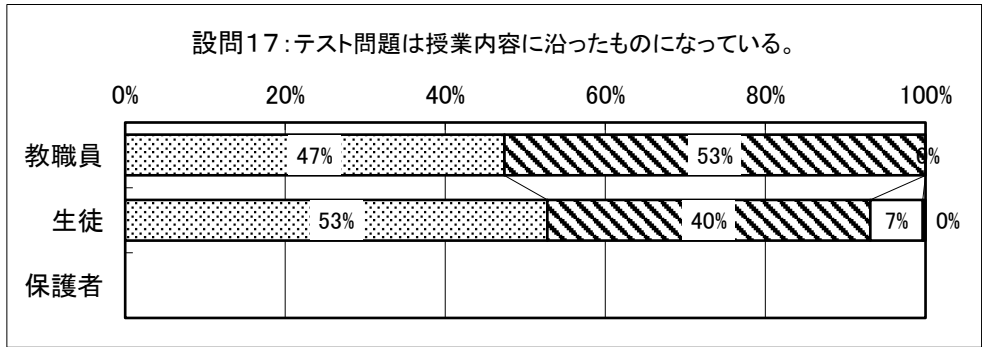
【設問14】本校では学びのユニバーサルデザインの考え方を取り入れ、教室環境の改善やヤマ場のある授業作りなどの授業改善に取り組んでいます。生徒の肯定的な回答は87%となり、高い水準を維持していますが、教職員自身も授業改善の必要性を感じており、今後もさらにわかりやすい授業づくりに向けて研修を続けていきます。



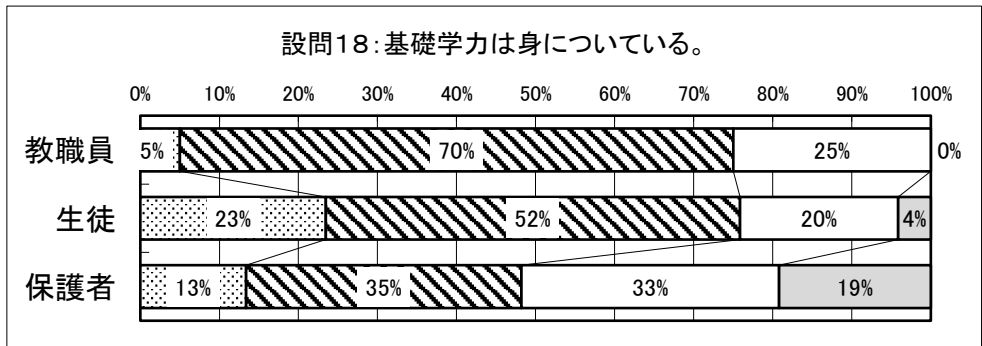
【設問15】タブレット端末等のICTを活用し、デジタル教科書や協働学習アプリを用いて、わかりやすい授業の実践に努めています。生徒の肯定的な回答は75%で、昨年度より7%高くなっています。今後も研修を重ね、ICTをより効果的に活用してこれからの新しい社会を生きていく生徒たちにとって必要な力を身につけて参ります。



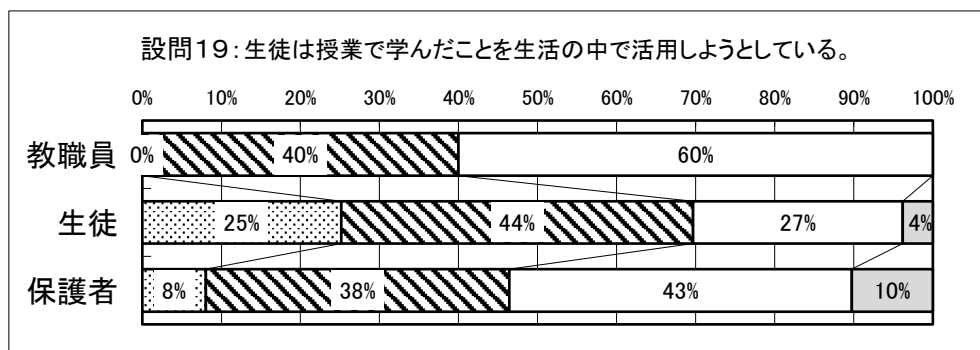
【設問16】では、肯定的な回答が、教職員では84%、生徒で87%になっています。教職員がめあてをしっかりと示し、生徒がめあてを理解することで、何を学ぶのかがわかり、主体的に学習に取り組むことができます。これからもめあてにそった授業展開をし、振り返りの時間を確保して、生徒の学力向上に努めていきます。



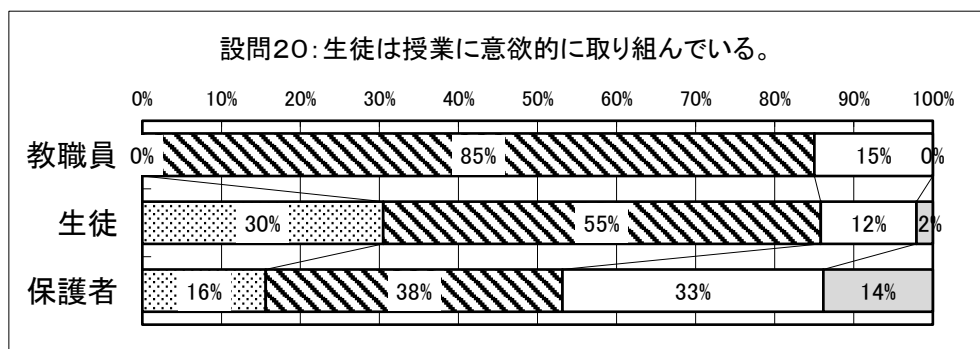
【設問17】テスト問題の内容が授業にそったものでなければ、学力の定着を図ることが難しくなります。その意味では、生徒の93%が肯定的な回答でほぼ満足のいく回答といえます。今後も授業のめあてや目標をはっきりとさせ、授業とテストが結びつくように授業を組み立て、まとめの時間や復習の時間も確保しながら学習を進めていきます。



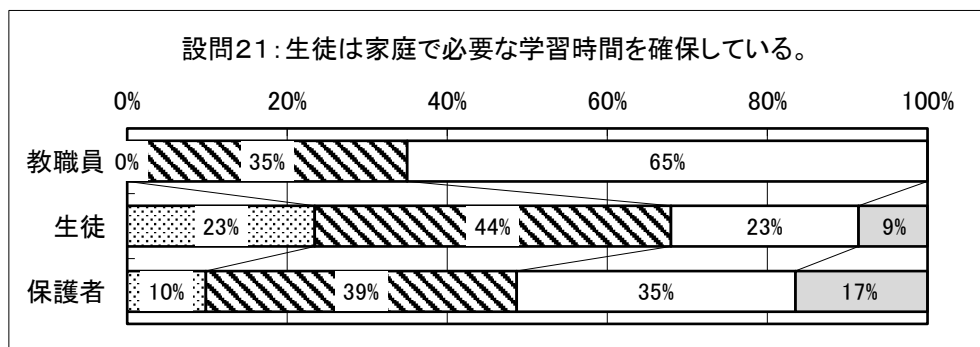
【設問18】昨年度も厳しい数字でしたが、今年度は肯定的な回答が、教職員は8%減少、生徒は1%減少、保護者は5%減少となり、さらに厳しい結果となりました。この設問においては、保護者との間に大きな意識の差が見られます。授業に集中して取り組むことや家庭での学習時間の確保など、基本的な生活習慣の確立も含めて、もう一度見直していきたいと思います。授業と家庭学習は学力向上・基礎学力の定着の両輪です。今後もきめ細かな支援・指導を行っていきます。



【設問19】以前から全国学力・学習状況調査において、「学んだことを活用する力」に課題が見られています。今回のアンケートからも、生徒31%、保護者53%が活用できていないという結果が見られました。授業において、実生活と結びついた内容を取り上げたり、既習の内容を活用する場面を多く設定したりして、各教科や総合的な学習の時間において「学んだことを活用する力」の育成に努めていきます。

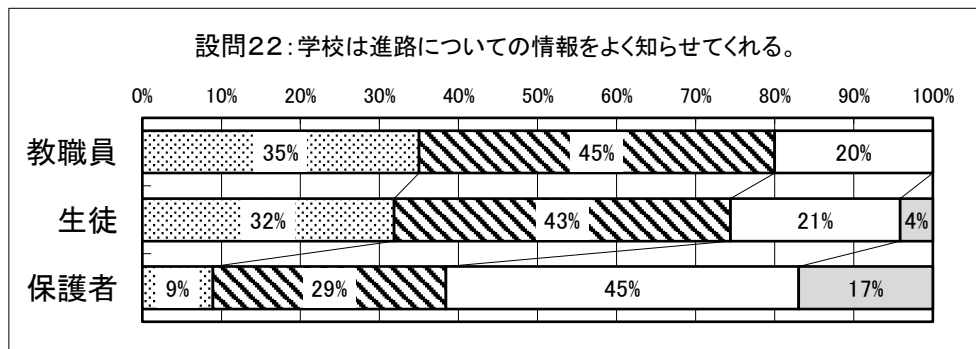


【設問20】「授業に意欲的に取り組んでいる」と回答した割合が、昨年度に比べて教職員15%、生徒1%、保護者2%減少しています。生徒が意欲的に取り組めるような授業改善と、今学んでいることが将来へとつながっていく意識を持たせるキャリア教育を実践し、主体的に学ぶ姿勢を育てていきます。また、忘れ物をしないことやチャイム前着席などの授業に向けた基本的な態度についても継続的に指導を行っていきます。

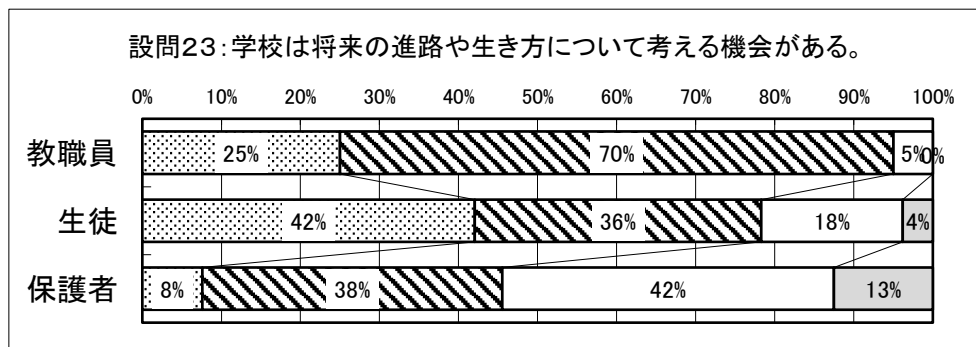


【設問21】グラフを見ると大変厳しい結果であることがわかります。生徒と教職員・保護者との意識に差が見られ、まだまだ家庭学習の時間が確保されていないことがわかります。学力の向上は本校の課題の一つです。少しずつ学習時間を確保できつつある生徒もいますが、家庭学習の習慣化を図り、学力向上をめざしていきます。

6 進路指導に関すること

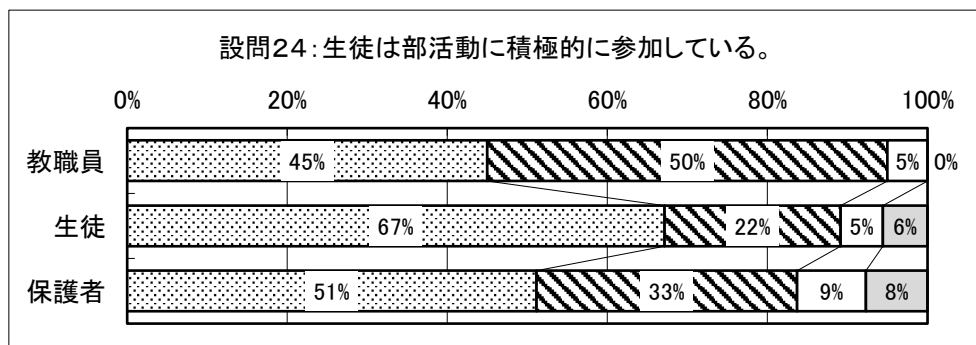


【設問22】では、肯定的な回答は昨年度と大きく変化ありませんでした。また、グラフには表れていませんが、生徒・保護者の回答では学年間でも差が見られました。今後は、1・2年生についても学級活動等の授業や掲示物で、進路についての情報を十分知らせるようにし、ホームページや「学校だより」、「学年通信」などでも情報を提供していくよう、一層の努力をしていきます。

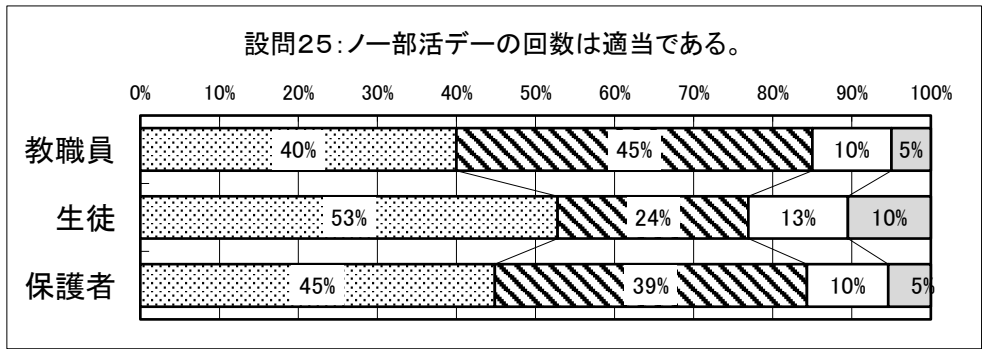


【設問23】肯定的な回答は、教職員は95%、生徒は78%、保護者は46%でした。【設問22】と同じく、保護者は半数以上がさらなる情報提供の充実を求めていることがうかがえます。学級活動、総合的な学習の時間の充実、講演会、外部講師の活用などにより充実した教育活動を継続し、3年間を見通したキャリア教育を推進するとともに、三者面談などを利用した相談活動も充実していきます。

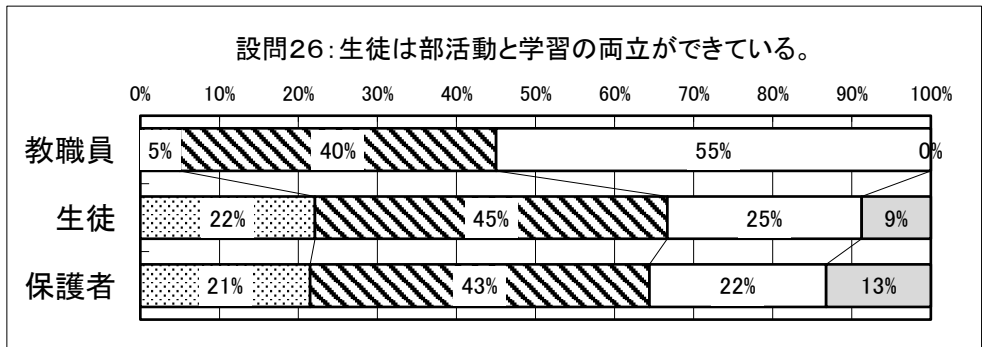
7 部活動に関すること



【設問24】では、教職員95%、生徒89%、保護者84%が積極的に取り組んでいると回答しています。生徒のほとんどが積極的に部活動に取り組んでいることがうかがえます。一方で11%の生徒が否定的な回答になっています。今後も生徒のよりよい成長のため、部活動という教育の場を有効に活用していきたいと考えています。

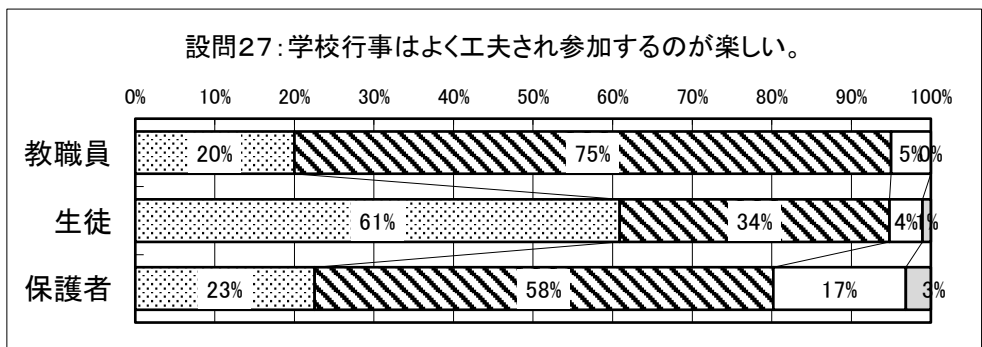


【設問25】では、生徒の77%、保護者の84%が適当な回数であると評価しています。生徒の怪我防止や体力回復のためにも休みをしっかりと取り、また、生徒にとって充実した部活動となるように計画的に活動していきます。

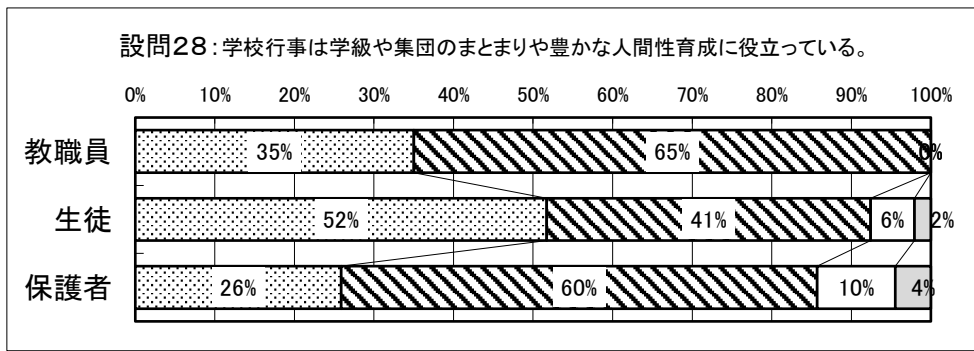


【設問26】は、学習に関する設問と関連しますが、教職員45%、生徒67%、保護者64%が肯定的な回答で、多くの生徒がうまく両立できていないことがうかがえます。毎日続けて学習する習慣の確立や、部活動が休みの日の有意義な過ごし方の指導など、学習と部活動のバランスを考えた教育活動を実践していきます。

8 学校行事に関すること

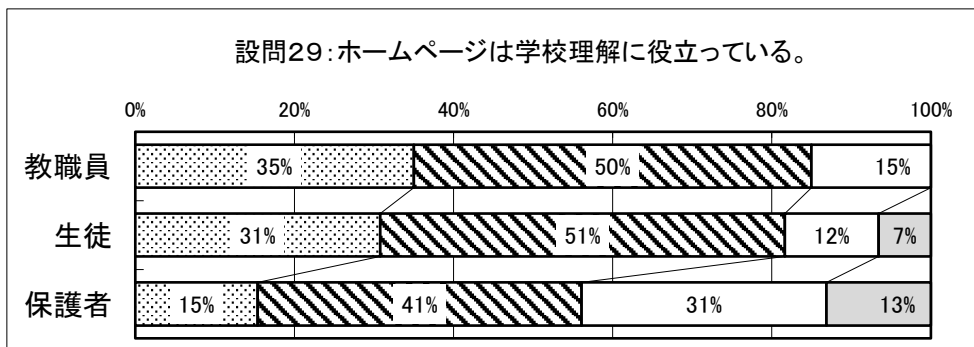


【設問27】では、肯定的な回答が教職員・生徒ともに95%で、昨年度より3%増加しました。保護者は81%で、昨年度と同じ割合でした。今後も地域の中心としての学校をめざし、学校の求心力が高められるよう、職員会、PTA役員会等で意見交換をしながら見直しをするなど、工夫を重ね、より教育効果の高い行事を実施していきます。

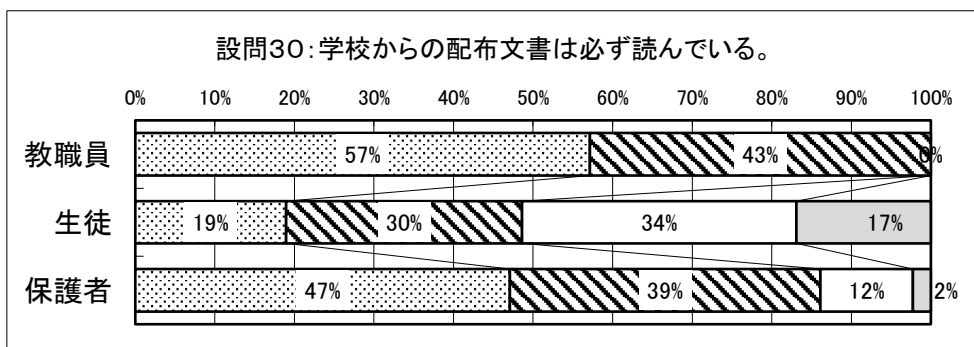


【設問28】では、教職員 100%、生徒 93%、保護者 86%が肯定的に回答しており、全体的に昨年度と同様に高い水準を維持しています。これからも、学校行事で嫌な思いをする生徒がいないように、行事の目的を生徒に考えさせ、社会性の育成に取り組んでいきます。そして、行事を通して協力することの大切さや思いやりの心を育てていきます。

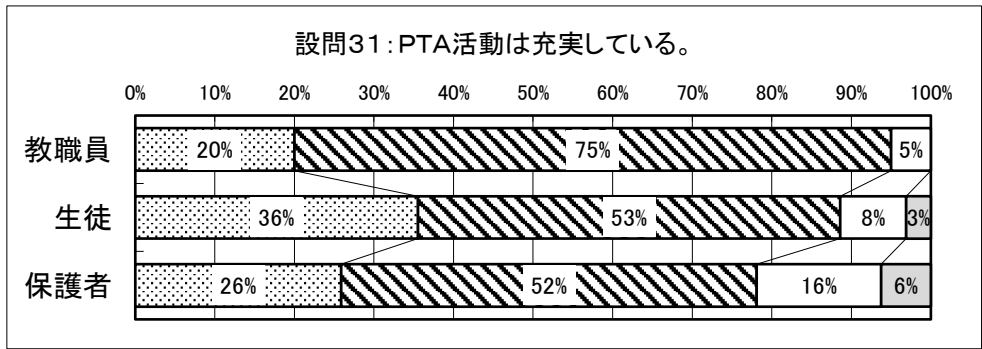
9 開かれた学校づくりに関すること



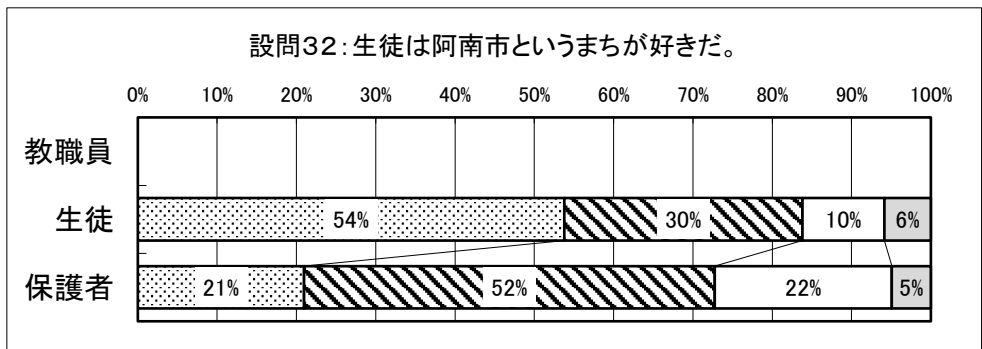
【設問29】では、教職員 85%、生徒 82%、保護者 56%が役立っていると回答しています。昨年と比べ、教職員・生徒・保護者ともに肯定的な回答の割合はわずかですが増加しています。今後も正確で新しい情報を積極的に提供することを心がけ、ホームページを運営していきます。



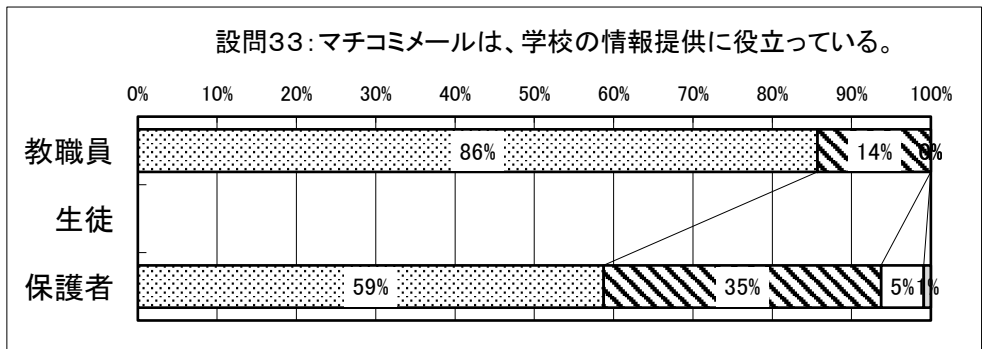
【設問30】では、肯定的な回答が生徒 49%で、昨年度を下回る低い数値となっています。保護者の回答は 86%となっており、多くの方が目を通してきています。生徒には配布のみに終わらず、短学活と一緒に読むなどして意識を高めていきます。また、保護者に確実に届くように生徒にも指導していきます。さらに、配布物そのものが読みやすく見やすくなるよう工夫をしていきます。



【設問31】授業参観には多数の保護者の皆様に来校していただきました。また、各専門部での活動も再開し、市P連スポフェス大会にも多数の保護者の皆様にご協力をいただきました。教職員 95%、保護者 89%が肯定的に捉えてくれており、昨年度を大きく上回る結果となっています。今後も、PTA役員を中心に計画をすすめ、学校、保護者、地域がより連携を深め、充実した活動にしていきます。



【設問32】では、生徒の84%が阿南市が好きであると回答しています。学校でも地域をいかした行事を実施したり、自分たちの暮らすまちの良さを知る機会をできるだけ多くつくったりして、市の魅力を伝えていきたいと思えます。



【設問33】教職員、保護者を対象に回答していただきました。両者とも肯定的な回答がほとんどで、昨年と変わりありません。これからも、学校行事や学校生活に関するお知らせ、お願いなど、必要な情報を早く提供できるよう取り組んでいきます。

終わりに

「基礎学力の定着」「家庭学習の時間の確保」「進路についての情報」など否定的な意見の多いところについては、学びのユニバーサルデザインの考え方をいかした授業づくり・教室環境づくりを中心とした取り組みをさらに深めていき、改善への努力を継続していきます。また、「いじめに関すること」「交通安全に関すること」など安心・安全にかかわる問題や「学校が楽しい」などの項目は、肯定的回答の100%をめざして引き続き努力していきます。アンケートへのご協力ありがとうございました。

